

# 原市場聖書教会

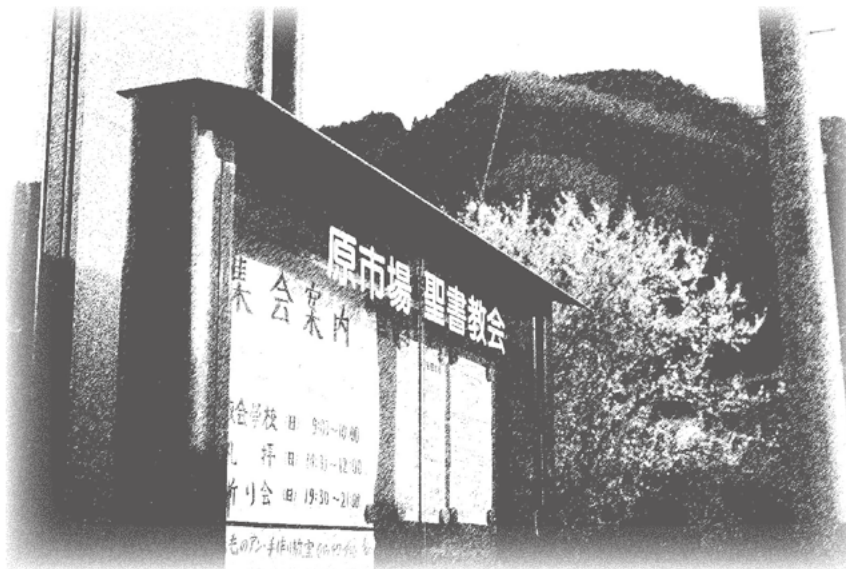
NO. 804

## 週 報

### 年間聖句

**だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、  
信仰には徳を、徳には知識を、  
知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、  
敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。**

**第二ペテロ1章5～7節**



**2020. 8. 30**

# 主日礼拝

## 2020年 8月 30日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 受付：若村めぐみ姉  
パワーポイント：本多悟兄 感謝の祈り：渡辺恵姉

賛	美	「その日全世界が」	—	同
祈	り		司 会	者
今月の賛美		「満たしてくださる方」	—	同
使徒信条			—	同
主の祈り			—	同
賛	美	聖歌295番「成したまえなが旨」	—	同
献	金		—	同
感謝の祈り			渡 辺 恵 姉	
賛	美	聖歌394番「ひとりの御子を」	—	同
聖書朗読		ローマ15章1節～6節	司 会	者
説	教	「心を一つに」	若 村 和 仁 師	
黙	禱		—	同
賛	美	聖歌472番「人生の海のあらしに」	—	同
頌	栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝	禱		若 村 和 仁 師	
後	奏		奏 楽 者	
報	告		司 会 者	

●コロナウィルス感染が落ち着くまで  
昼食会はお休みいたします。



# 「心を一つに」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

## ローマ15章1節～6節

- 1, 私たち力のある者たちは、力のない人たちの弱さを担うべきであり、自分を喜ばせるべきではありません。
- 2, 私たちは一人ひとり、霊的な成長のため、益となることを図って隣人を喜ばせるべきです。
- 3, キリストもご自分を喜ばせることはなさいませんでした。むしろ、「あなたを嘲る者たちの嘲りが、わたしに降りかかった」と書いてあるとおりです。
- 4, かつて書かれたものはすべて、私たちを教えるために書かれました。それは、聖書が与える忍耐と励ましによって、私たちが希望を持ち続けるためです。
- 5, どうか、忍耐と励ましの神があなたがたに、キリスト・イエスにふさわしく、互いに同じ思いを抱かせてくださいますように。
- 6, そうして、あなたがたが心を一つにし、声を合わせて、私たちの主イエス・キリストの父である神をほめたたえますように。

# 今月の賛美

## 満たして下さる方

(ヨハネ8:35)

F Dm7 Bb Am7 Gm7

主よわたしは — — — う えかわ — いて — いま — こ — こ — に — 来 — 一 — ま

Bb/C C F Dm7

した — — 主よ あな — た — に — — — りよ う 手あ — げ — て — — こ

Bb Am7 Gm7 Bb/C C F F/E Dm7 Dm7/C

ころか — ら あが めま — す 主よ あな — た — だ — け が わ

Bb F/A Gm7 Csus4 C F F/E

たしを — み た し て — く だ さ る — か た — — — 主よ あな — た — だ — け

F/D F/C Gm7 Bb/C F

に さ — ん び の う た — を — さ さ げ — ま す

# 使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、  
三日目に死人の内よりよみがえり、  
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。  
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。  
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、  
聖徒の交わり、罪のゆるし、  
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。  
アーメン

# 主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ  
願わくは御名をあげさせたまえ  
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を  
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを  
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ  
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ  
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり  
アーメン

# メッセージ要約

人間は誰もが、孤独であることには耐えられないのではないのでしょうか？人は同じ苦しみを周りも共に味わってほしい、もしくは理解してほしいと口に出さなくても、無意識のうちに心の奥底では求めている場合が多いのではないのでしょうか？だからこそ、人間は、家庭や、学校、職場などのどこか一つでも人間関係が崩れてしまう時、心に余裕がなくなり、体に異常を生じてしまうこともあるのです。自分は大丈夫だと思っても、体は正直です。人間は自分の生きている存在意義を見失ったとき、物や人に依存し、そこでも本当の解決を得られず、ついには、体の健康状態まで悪化させてしまうのです。

では、私たちはどうすれば、本当の平安と喜びを得ることができるのでしょうか？

それは、やはり、本当に大切にしなければならないと神様から命じられていることを第一とすることです。それは、神を霊と真をもって礼拝することです。本日の御言葉に入る前に先週のポイントを復習いたします。

## ●先週の復習

1. 食べる食べないで神のみわざを台無しにしてはならない。
2. 神様の前で堂々と告白できない行為は勇気をもって切り捨てる。
3. クリスマスは誰よりも自由であって誰にも儒属しない。しかし、クリスマスはすべてのものに最も奉仕するしもべであって、だれにも従属している。

このようなポイントを学びました。私たちは、キリストに従属することは本当の自分の賜物を存分に生かすことができ目の前のあらゆる誘惑の奴隷にならない本当の自由があることと、キリストに従属することは、すべての人に従属する人になれる。要するにすべての人に仕える本当の隣人になれるということを学びました。

私たち人間の世界は、なんでも、自分で自分を喜ばせることができる生活を手に入れることが本当の幸せであると思込んでいるのではないのでしょうか？

その基準は誰かと比べて、自分は良い物を持っている。お金がある、自分の性格に合った友達が沢山いるなどなど・・・。クリスマスの場合では、礼拝すら、自分を喜ばせるための礼拝になっていないか気を付けなければならないのです。本来礼拝は、神様が喜ばれる礼拝をささげる。と言うことが第一の目的なのです。しかし、私たちは、自分を喜ばせることのできる礼拝を求め、人を裁き、人を傷つけてしまうようなことがあるのです。結果それは、神を心から礼拝しているのではなく、周りのものに目が奪われている証拠なのです。今日の御言葉ではまずこのように語られています。

## 1. 自分を喜ばせることに一生懸命になればなるほど本当の喜びと祝福から遠ざけられる。

1節で語られている「力のある者たち」とは、信仰の強い人のことを語っています。信仰の強い人は、「信仰の弱い人」を裁いてはいけません。その弱さを共に担うことが大切だと語られています。要するに、自分は信じているから大丈夫と、その人は信仰が弱く悩んでいるにもかかわらず、傷つけるような発言、態度を取ってはいけませんということなのです。信仰の弱い人達が目の前にいた時、大切な行動は、2節にあるように「霊的な成長のため、益となることを図る」ことが大切なのです。3節に書かれています。キリストご自身もご自分を喜ばせるための行動はとられなかったのです。キリストは、信仰の弱い人に寄り添った結果、あざけりが自分に降りかかったのです。

## 2. 聖書を通して教えらるる神の忍耐と励ましによって私たちは希望を持ち続けられる。(それらはキリストを通して見える形となった)

希望は私たちの努力や研究によって得るものではなく、聖書を通して神様が教えて下さるのです。私たちはどこから希望を得ようとしているのでしょうか？地位や名誉でしょうか？人からの愛でしょうか？お金でしょうか？どれも、ひと時は希望と祝福を得られることと思いますが、永遠に続くものには無いのです。希望を持ち続ける為には、私たちがしっかり神様を心から礼拝するという本来の目的を第一とすることなのです。その為にも、私たちは、正しい道が書かれている神の言葉である聖書から離れてはいけません。

## 3. 私たちの本来の目的は心一つにして神をほめたたえる事

私たちはどうしても、神を礼拝する時にも、自分が満たされることを第一の目的として、礼拝をささげてしまいがちです。そのような自分が満たされることが第一の礼拝スタイルを皆が持ち始めると、本来の礼拝の目的である神をたたえる事から目がそれてしまい、一人一人の心の目は、神ではなく、人に向かってしまうのです。周りの人が気になるのです。神のことはよりも、周りの人の礼拝スタイルが気になってしまい自分自身が心から礼拝することを忘れてしまうこととなってしまいます。しかし、本来の礼拝は、神がほめたたえられることが礼拝です。また、神の喜ばれる礼拝は、霊と真をもって、私たちが砕かれた悔いた心をおささげすることだと聖書には書かれています。形だけのいかにえよりも、砕かれた悔いた心こそが神様の喜ばれる捧げものなのです。(詩篇51篇17節)

## ●まとめ

### ★「心一つにして神をほめたたえる」

1. 隣人を喜ばせることを目的とする。私たちは神からの希望が与えられる。
2. 私たちは神からの希望が与えられる。
3. 心一つにして神がほめたたえられることを第一の目的とする

原市場聖書教会牧師 若村和仁

# 報 告

- ★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。
- ☆体調不良の方は、礼拝出席を無理せず zoom にて礼拝を中継いたしますのでご利用ください。また、礼拝堂に入られる時には、手の消毒をよろしくお願いいたします。
- ☆9月に入っても感染拡大が心配されます。礼拝中の賛美ですが、番数を減らし礼拝をお捧げしたいと思います。ご理解ご協力お願いいたします。
- ★9月以降の予定  
昼食は9月中もお休みいたします。zoom での礼拝中継はしばらく継続する予定です。
- ★礼拝以外の集会再開予定  
・こひつじタイムは9月1日（火）、赤毛のアンは9月8日（火）から再開予定です。
- ★皆様の尊い夏期特別献金をありがとうございます。本日まで受け付けております。集計ができましたらご報告いたします。

## 9月の誕生日

9月14日 若村祐歌ちゃん

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・8月31日～9月4日（月～金） NPO 法人あまやどり奉仕 （場所：高麗聖書教会）
- ・9月3日（木） hi-b.a. 所沢集会 （会場：オンラインにて）
- ・9月4日（金） hi-b.a. 川越集会 （会場：オンラインにて）

## 本日午後の予定

☆礼拝後昼食会はありませんが自家焙煎珈琲をご用意しています。  
ご自由にお交わり下さい。

## 次週（9月6日〈日〉）

司 会：本多崇兄 聖餐式司式：若村和仁師  
 聖 書：□-マ15章7節～13節  
 説 教：「聖霊の力によって」若村和仁師  
 奏 楽：本多こずえ姉  
 讚 美：「あがめます全能の主」 今月の賛美「ゆるがない岩」  
 聖歌340、聖歌331、聖歌581、福音賛美歌259、聖歌383  
 受 付：本多祐子姉 献金感謝祈祷：渡辺愛秀兄

### 先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
8月23日（日）	教会学校ハレルヤキッズ	3人			3人
	礼 拝	3人	5人	13人	21人
	(礼拝はオンライン参加者4名を含む)				
8月26日（水）	夕 礼 拝	お休みでした。			
	祈 り 会	お休みでした。			

## 集会案内

9月1日（火）	こひつじタイム（参加費300円軽食付き）	10:30～13:00頃
9月2日（水）	祈 り 会	10:30～12:00
9月6日（日）	ハレルヤキッズ	9:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

# 頌 栄

## 聖歌383

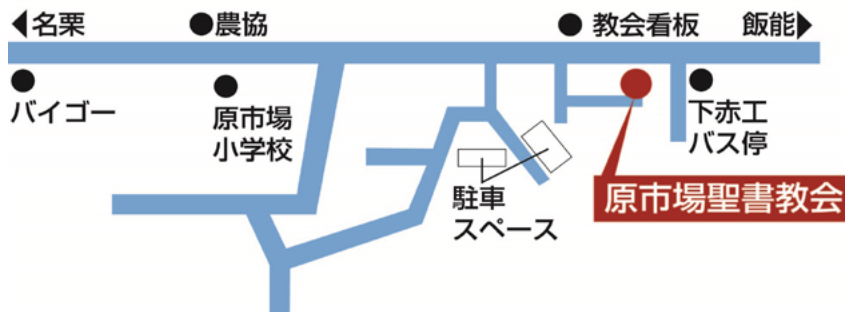
### 「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost  
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE  
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか  
わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254  
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール [hibawaka@aol.com](mailto:hibawaka@aol.com)

#### ■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



## 原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁